

平成30年度事業報告

1. 平成30年度事業報告にあたって（全体）

平成22年度以降の経営危機（赤字運営）をうけ、農業・教育を取り巻く環境は大変厳しい状況下であるが、平成30年度から3か年を改革期間（抜本的改革・選択と集中）とし、平成32年度収支トントンを目途に様々な施策に取り組んだ。

「教育」では、教育研究会で課題整理を行い、就学希望者がもっとも活用するSNSを更に充実するため、DVD（過去・現在、そして自立・未来へ）の動画配信に加えて、学園の見える化のためインスタ（学園の今）を開設した。また、教科名や学費の変更、学園案内パンフの改善、消費者向けのパンフ作成・配布（試行実施）、農業人フェアでのPRなどに取り組んだ。

しかし、一番期待される学校見学会への来校者が、未入学になったなど大変厳しい結果となった。

「農場」では、販路・販売強化研究会、直売所収益拡大検討会を行い、収益事業としての干し芋事業の強化（作付け面積拡大）を図るとともに、赤字が大きな品目対策、特に野菜（耕種部門の統一化・契約栽培の促進）、畜産（乳牛の廃止・要員の削減）、直売所（チラシ配布・パン販売の拡大）などを実施した。

「収支」は、学生の減少、猛暑等による野菜の不作・収入減や事業費の固定化、設備投資増（干し芋の先行投資）等により赤字が拡大した。

以下、事業計画の主な実施状況・決算結果を報告する。

2. 実施内容

（1）諸行事の実施

第1回理事会 平成30年6月1日

第2回理事会および定期総会 平成30年6月16日（土）

第3回理事会 平成30年10月31日（水）

第4回理事会 平成31年3月5日（火）

（2）教育関係

（参考資料）

* 学生数の現状・推移：別紙 表1

* 教育・研修・学校行事の実績：別紙 表2～6

* 学生募集の概要：別紙 表7

* 卒業生の動向：別紙8

（主な取組内容）

①情報発信機能の強化

HPはTwitter、Instagramと連動させると共に、「学園の今」が見えるような工夫を行い、行事や農場の様子など随時「情報発信」した。

②教育内容の充実

- ・先進地研修として、もくもくファーム（三重、6次産業化）、ブルーベリーファームおかざき（愛知、観光農園）、飯野農園（筑波、CSA）を実施した。
- ・ヤングファーマーズミーティング（8/23）に参加した。
- ・シャープ製の土壌診断のデモ授業を行った。

③学生募集

学校見学会の開催、農場人フェアへの参加等を実施したが入学者の増加に結びつかなかった。

また、生協組合員の受講・学園活用について常総生協と協議した。

（3）農場関係

（参考資料）

- *各部門別実績分析：別紙
- *ほしいも・甘藷事業報告：別紙

（主な取組内容）

①耕種部門の統合・一元化

- ・労力の分配と収益性の観点から、ジャガイモ、ごぼう、加工トマト、小松菜、ネギ、さつまいもと品目を絞った生産を行った。しかし、天候不順やノウハウ不足による判断ミスにより思うような実績は上がらなかった。

②付加価値のある生産物の拡大

- ・ほしいもの生産強化を行った。

③直売所の強化

- ・通常の販売に加えてイベント「学園マルシェ」（第二土曜日）、「ニコニコセール」（25日）を実施した。
- ・毎月チラシを作成し近隣3000部配布し販促を図った。
- ・新レジを導入し、ニコニコセール等の混雑時の対策を図った。

④卒業生ネットワークの活用

- ・協会会員の卒業生（約270名）に、干し芋のサンプルを配布し拡販を図った。
- ・農家見学で卒業生（筑西市・長島氏）を訪問し研修した。

⑤学園ブランドの検討・着手

- ・ほしいもの学園ブランド化の計画があったが、未実施となった。

⑥有機農産物のC S A・宅配事業の検討・着手

- ・講師久保田裕子氏を招いて勉強会の開催や先進地「なないろ畑」（神奈川県）、つくば飯野農園への視察を行った。
- ・既存の施設を拠点として準備し案内看板の設置を行った。
- ・C S A構築のための検討会を実施した。

⑦畜産部門の改革

- ・酪農事業から撤退し和牛繁殖中心の事業への切り替えを行った。
- ・養豚と養牛で分かれていた部門を統合し労力の効率化（合理化）を。図った
- ・ジェラートの加工、販売は購入した牛乳で当面は実施することとした。

(4) 施設・機械の維持・改善

(主な取組内容)

- ・別紙「施設・機械投資実績、リース物件一覧表」参照

(5) 情報発信力の強化

(主な取組内容)

- ・HPをスマホ対応にしSNSとの連動により「学園の今」を発信した。
- ・卒業生への協力呼びかけにより賛助会員は増加した（218名⇒274名）
- ・近隣住民へは直売所のチラシ配布（3000部）や各種研修会（田植え・イモ堀等）、収穫祭などで学園の活動をPRした。

(6) 資金調達の検討・実施

(主な取組内容)

土地売却について資金需要・販売可能な土地を勘案しながら検討した。

3. 平成30年度決算報告書 別冊のとおり